

テーマ	【授業デモンストレーション】「60分で発音記号をマスター」				
対象	小・中・高	使用言語	日本語	所要時間	90分程度
<p>概要</p> <p>電子辞書の普及で、ネイティブの発音をボタンひとつで聞けるようになりました。しかし、大人の耳は、すでに言語音声学習の機能を失っていて、ネイティブの発音を聞いても、10歳未満の子どもとは違って聞こえているのです。例えば、theater という語を聞いたとしますと、大人は、"th"の音を日本語の「シ」に置き換えて聞いてしまいます。一方、幼い子どもたちは、きちんと"th"を捉えて、そのまま発音しようとします。そこで大切になるのが発音記号です。発音記号は日本語と違う音を視覚的に示してくれていますから、意識して練習することが可能になるからです。本講演は、60分程度ですべての発音記号を正しく読めるようにするワークショップです。この手順を身につければ、発音指導の効率が格段に上がることでしょう。（なお、本講演は、会場に仮の教室を設定していただきます。私が中高生にデモ授業をし、先生方に参観していただく形式となります。）その後、30分程度で先生方に発音指導の意義や狙いなどを解説します。</p> <p>また、小学校の先生方を対象にデモ授業を実施させていただき、英語の発音をトレーニングすることも可能です。</p>					
講師	内田浩樹				
<p>講師略歴</p> <p>内田浩樹（うちだ・ひろき）南山大学文学部卒、南山大学大学院外国語学研究科修了。愛知県立半田（はんだ）商業高等学校教諭、名古屋短期大学専任講師、鳥取環境大学准教授などを経て、現在、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科研究科長・専攻長、英語教育実践領域代表・教授。専門は、英語教師教育、英語教育プログラム開発、教材開発、語彙指導など。著書は「つむぐ英単語（河合出版）」、「PLAY! 拼裝英單（笛藤出版・台湾）」、「英単語メモリー（Jリサーチ出版）」など。また、「国際教養大学・内田浩樹教授のライブ授業シリーズ」（ジャパンライム）等を通じて授業実践をDVDで発信している。</p>					